ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

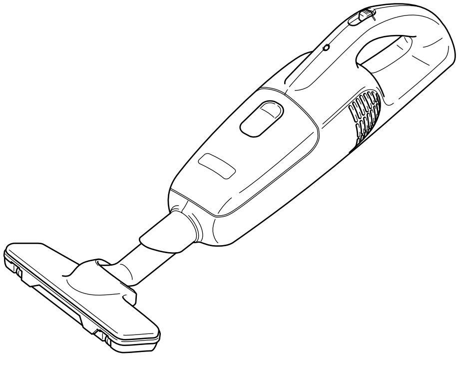
取扱説明書

充電式クリーナ

モデル 4076DW
（充電器 DC7040 付）

もくじ

・主要機能 ---------------2
・安全上のご注意-----------4
・各部の名称および標準付属品 --9
・別販売品のご紹介 --------11
・使いかた --------------12
・充電のしかた--------------12
・バッテリを長持ちさせるには -----13
・スイッチの操作-------------13
・標準付属品の使いかた --------13
・ゴミの捨てかた-------------15
・ダストバッグ/紙パック 使用時の注意点 -17
・ダストバッグの取り付けかた -----17
・紙パックの取り付けかた -------19
・フロントカバーの取り付けかた ----21
・保守・点検について--------22
・ハンガーについて ----------22
・お手入れは----------------22
・スポンジフィルタの取りはずしかた--23
・スポンジフィルタの取り付けかた---23
・修理について -----------24
・バッテリのリサイクルについて 25
・ニカドバッテリの取りはずしかた---25
・ニカドバッテリの取り付けかた ----26
・保証書 ----------------28



このたびは**充電式クリーナ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

主要機能

モデル／主要機能	4076D
電動機	直流マグネットモータ
バッテリ	ニカドバッテリ
電圧	直流 7.2V
連続使用時間	強（HIGH）約 10 分 弱（LOW）約 20 分
集じん容量	0.5L（ダストバッグ） 0.33L（紙パック）
本機寸法	長さ 446mm ×幅 118mm ×高さ 136mm （ノズル取り付け時の長さ 983mm）
質量	1.1kg（本機のみ）

充電器	DC7040
入力電圧	単相交流 100V
入力周波数	50-60Hz
入力容量	12VA
出力電圧	直流 7.2V
出力電流	直流 0.735A
充電時間	約 3 時間
耐用充電回数	約 500 回（注 1）

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注 1：使用状況によって耐用充電回数、充電時間は変動します。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

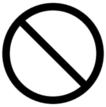
⚠注意 ： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 ： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

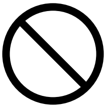


このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

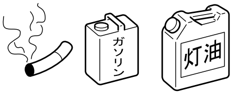
このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

- 灯油、ガソリン、たばこの吸いがらなどを吸わせない。

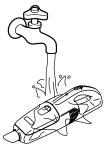


・火災の原因になります。

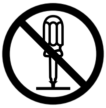


- 水洗いや風呂場での使用は絶対しない。

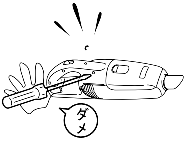
・感電する場合があります。



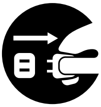
- 絶対に分解・修理・改造しない。



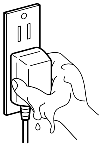
・発火や異常動作してけがをすることがあります。



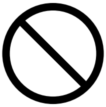
- お手入れ・点検の際は、充電器をコンセントから抜く。また、雨中で充電したり、ぬれた手で抜き差ししたりしない。



・感電やけがをすることがあります。



- 専用の充電器以外は使用しない。



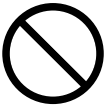
・バッテリの液もれ、発熱、破裂の原因になります。
・充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

- 交流 100V で充電する。

・昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源やエンジン発電機で充電したりしないでください。火災の原因になります。

⚠警告

・ **バッテリは発熱、発火、破裂の恐れがあります。次のようなことをしない。**

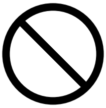


・ 端子に金属類を接触させないでください。
・ 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れないでください。
・ 雨や水にぬらさないでください。
・ 分解・改造はしないでください。
・ 温度が 10 ℃未満、あるいは温度が 40 ℃以上では充電しないでください。
・ 換気のよい場所で充電してください。
・ バッテリや充電器を充電中に布などで覆わないでください。
・ 火中に投入しないでください。
・ 使用時間が極端に短くなったときは使用をおやめください。
・ 落としたり、何らかの損傷を受けたりしたバッテリは使用しないでください。

・ **バッテリの液が目に入ったら、すぐにきれいな水で洗った後、医師の治療を受ける。**

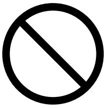
・ 失明の恐れがあります。

・ **以下のものは吸わせないでください。**
・ **セメント粉・トナーなど固化するものや、金属粉・カーボン粉など導電性の微粉じんや、コンクリート粉などの微粉じん。**
・ **引火性物質（ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など）、爆発性物質（ニトログリセリンなど）、発火性物質（アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど）**
・ **金属の切断作業および研削作業中に発生する研削火花や金属粉など。**
・ **木片、金属、石および釘、ガラス、カミソリ、押しピンなどの鋭利なもの。**



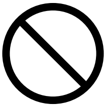
・ 火災やけがや故障の原因となります。

・ **本機の吸込口や排出口には手を入れないようにしてください。**



・ けがの原因になります。

・ **水・湿ったゴミ等は吸い込まないでください。**



・ モータの故障の原因となります。

⚠警告

- 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたりしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
  - そのまま使用していると、けがの原因になります。

- 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

- 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。

- 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

- 作業場の周囲状況も考慮してください。
  - 充電工具、充電器、バッテリは、雨中で使用したり、湿った、または濡れた場所で使用したりしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
  - 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。
  - 可燃性の液体やガスのある所で使用、充電しないでください。爆発や火災の恐れがあります。

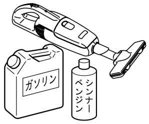
- 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

- 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
  - ダンボールなどの紙類、座布団などの布類・畳・カーペット・ビニール等の上では充電しないでください。
  - 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
  - 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

- ご使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
  - 棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

⚠注意

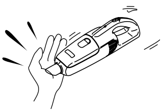
- **引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー、ガスなど）の近くで充電したり、使用したりしない。**
  - 爆発や火災の原因になります。



- **火気に近づけない。**
  - 本体の変形によるショート（短絡）、発火の原因になります。

- **排気口をふさがない。**
  - 火災の原因になります。

- **吸引口をふさいで長時間運転しない。**
  - 過熱による本体の変形、発火の原因になります。



- **充電器のコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるんだりしたときは使用しない。**
  - 感電、ショート（短絡）、発火の原因になります。

- **温度が 50 ℃を超える可能性のある場所（炎天下の車内、火気や暖房器のそば）に保管しない。**
  - 本体の変形による、ショート（短絡）、発火の原因になります。

- **充電しないときは、充電器をコンセントから抜く。**
  - 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

- **充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちにプラグを抜いて充電を中止してください。**
  - そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

- **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
  - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜いたりしないでください。
  - コードを熱、油、薬品、角のある所に近づけないでください。
  - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電やショート（短絡）して発火する恐れがあります。

- **付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付ける。**
  - 確実でないと、はずれたりして、けがの原因になります。
- **高所で使用するときは、本体を落下しないように注意する。また、持ち運ぶときはノズルや延長管を持たないで必ず本体のハンドルを持って運ぶ。**
  - 本体などを落としたときなど、事故やけがの原因になります。

⚠注意

・ **充電式クリーナは、注意深く手入れをしてください。**

・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
・ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。感電や（ショート）短絡して発火する恐れがあります。
・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や（ショート）短絡して発火する恐れがあります。
・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

・ **屋外使用に合った延長コードを使用してください。**

・ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

・ **損傷した部品がないか点検してください。**

・ 使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
・ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
・ 破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
・ スイッチで始動、および停止操作のできない充電工具は、使用しないでください。

・ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**

・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。
・ バッテリを、周囲温度が 50 ℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内等）に保管しないでください。バッテリ劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

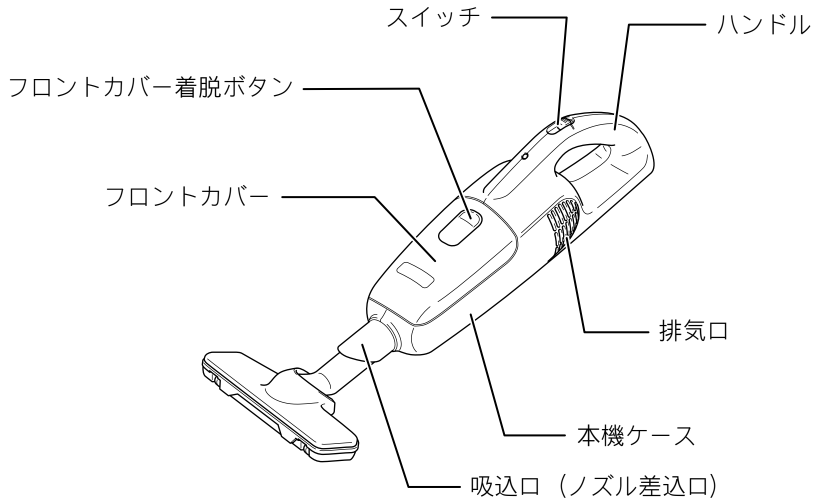
注

・ **電源が離れていて延長コードが必要なときは、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。**

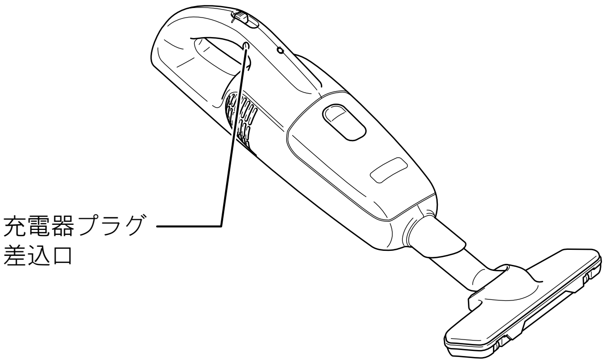
使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの目安

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの長さの目安
2.0mm^2	30m

各部の名称



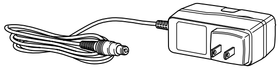
スイッチ
ハンドル
フロントカバー着脱ボタン
フロントカバー
排気口
本機ケース
吸込口（ノズル差込口）



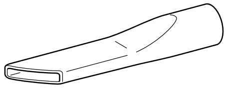
充電器プラグ
差込口

標準付属品

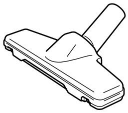
・ 充電器 DC7040



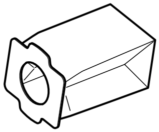
・ すき間用ノズル



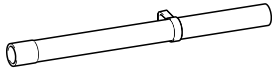
・ ノズル



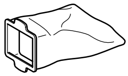
・ 紙パック（10 枚）(使い捨て)



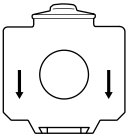
・ 延長管



・ ダストバッグ（購入時は本機に取り付けてあります。洗浄して繰り返し使えます。）



・ ゴミストッパー（購入時は本機に取り付けてあります。）

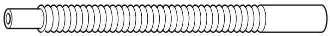


注

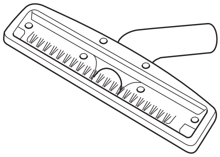
・ ゴミストッパーはダストバッグまたは紙パックのどちらを取り付ける場合も使用します。

別販売品のご紹介

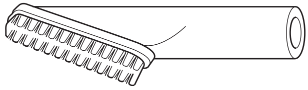
・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。
・ フレキシブルホース　部品番号：A-37568
（自由に曲がるため、車等の狭い場所の掃除に便利です。）



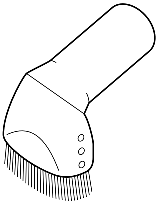
・ じゅうたん用ノズル　部品番号：A-37546



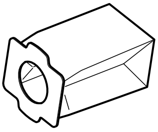
・ 棚ブラシ　部品番号：A-37552



・ ラウンドブラシ　部品番号：A-37471



・ 紙パック（10 枚入）　部品番号：A-48511



使いかた

充電のしかた

⚠警告

充電されるときは、スイッチ OFF の状態で必ず専用の充電器をお使いください。

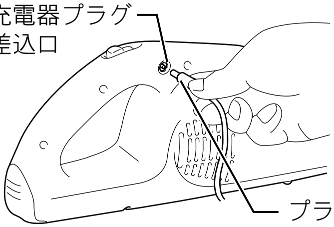
・ 他の充電器を使用しますと、バッテリの液もれ、発熱、破裂の原因になります。

⚠注意

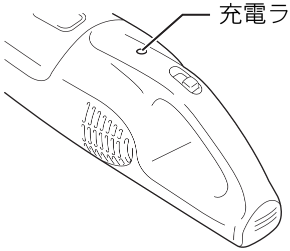
本機を立て掛けた状態で充電する場合は、ハンガーを金具に引っ掛けて固定してください。(22 ページ参照) または、本機をねかせた状態で充電してください。

・ 何も固定せず立て掛けると、転倒して故障する恐れがあります。

・ はじめてご使用になるとき、長期間ご使用されなかったときは、バッテリが自己放電していますので必ず充電してからご使用ください。



・ 充電器プラグ差込口に充電器のプラグを接続した後、充電器を家庭用コンセントに差し込めば、充電がはじまります。本機スイッチ前側の充電ランプが点灯します。
・ 充電が完了すると充電ランプが消えます。
・ 充電時間は約 3 時間です。



注

- 充電状態のままお使いになりますと故障の原因になります。
- 充電完了後は本機から充電器のプラグを、コンセントからは充電器をはずしてください。
- 新品や長期間使用されなかったときは 1 回の充電で満充電にならないことがあります。このようなときは、使用・充電を 2 ～ 3 回繰り返してください。
- 使用直後や直射日光の当たる所に長時間放置した本機に、充電器のプラグを接続し充電されますと、充電ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、本機の温度が下がると充電を開始します。

使いかた

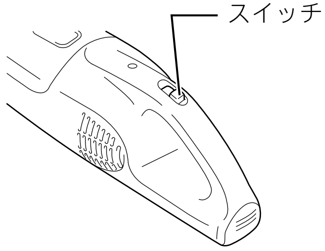
◎バッテリには寿命があります。充電しても数 10 分で充電ランプが消えてしまう場合および充電しても使用時間が半分以下になった場合は、バッテリの寿命（不良、故障）と考えられます。このようなときは充電器をコンセントから抜き、バッテリを交換してください。
◎バッテリの耐用充電回数は約 500 回です。使用状況によって、この耐用充電回数は変動します。

バッテリを長持ちさせるには

・ 吸い込みが弱くなってきたと感じたら使うのをやめて充電してください。
・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
・ 充電は気温 10 ℃～４０℃の範囲で行ってください。

スイッチの操作

・ 吸い込みの強さを「弱 (LOW)」と「強 (HIGH)」の 2 段階に切り換えできます。
・ スイッチは手前で切れ「OFF」、1 段前で「弱 (LOW)」、さらにもう 1 段前で「強 (HIGH)」になります。



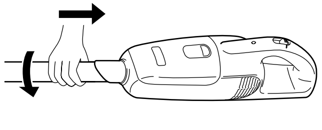
注

・ ご使用前にダストバッグまたは紙パックが正しく入っていることを確かめてからご使用ください。正しく入っていないとモータ部にゴミが入り、故障の原因になります。
・ クリーナの紙パックは、本機性能を維持するための大切な機能部品です。そのため、純正以外の紙パックを使用した場合はモータの発煙、発火する恐れがあります。
・ 故障を防ぎ、バッテリを長持ちさせるために、使用後は必ずスイッチを切ってください。

標準付属品の使いかた

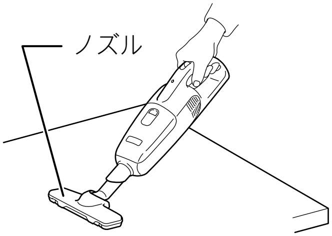
⚠注意

・ ノズルや延長管は使用中に抜けないように、ねじりながらしっかりと差し込んで取り付けてください。



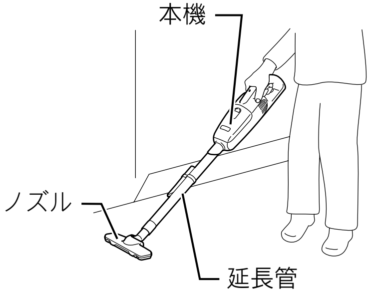
ノズル

・ テーブル・家具・棚などの上を掃除されるときは、ノズルを本機に直接差し込んで、ご使用ください。



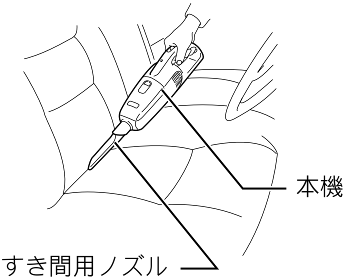
ノズル＋延長管

・ 畳・じゅうたん・床など低い所を掃除されるときは、本機とノズルの間に延長管を差し込めば立ったままの姿勢で楽に掃除ができます。



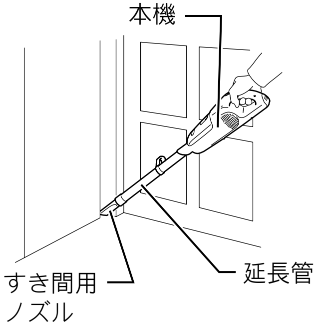
すき間用ノズル

・ 自動車の中や家具のすき間およびサッシの溝などを掃除されるときは、すき間用ノズルを本機に直接差し込んで、ご使用ください。



すき間用ノズル＋延長管

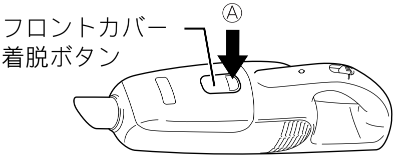
・ 家具の奥など本機が当たって入らないときや高い所のすき間などを掃除されるときは、すき間用ノズルと本機の間に延長管を差し込んで、ご使用ください。

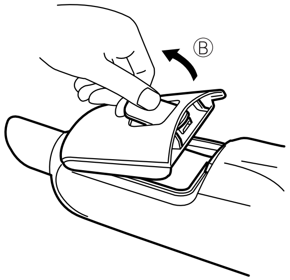


使いかた

ゴミの捨てかた

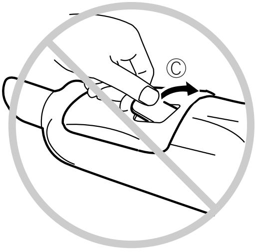
1. フロントカバー着脱ボタンのA部を押し、図のようにつまみながらBの方向へフロントカバーを開けます。



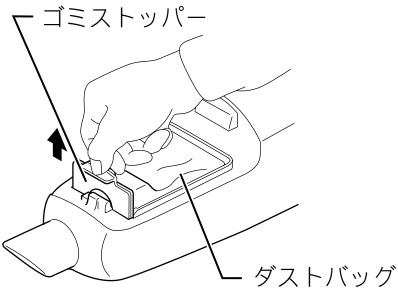


注

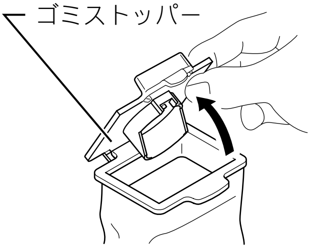
フロントカバーの着脱ボタンをCの方向へ強く引っ張らないでください。
フロントカバー着脱ボタンが脱落する恐れがあります。

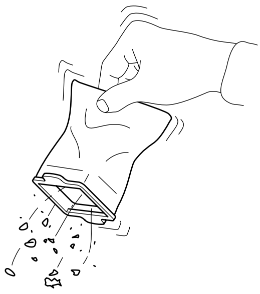


2. オレンジ色のゴミストッパーとダストバッグをいっしょに引き抜きます。



3. ゴミストッパーを取りはずしてから
   ゴミを捨てます。





注

ゴミストッパーを誤って捨てないでください。

注

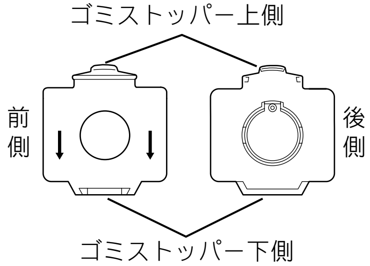
- ゴミをためすぎますと吸込力が低下しますので、早目にゴミを捨ててください。
- 本機ケース内のゴミは必ず捨ててください。本機内部のスポンジフィルタの目詰まりや、モータ故障の原因になります。
- ゴミストッパーはダストバッグもしくは紙パックのどちらを取り付ける際にも使用しますので、捨てないでください。

ダストバッグ / 紙パック 使用時の注意点

・ ご使用の際には、ダストバッグまたは紙パックのどちらかを取り付けます。
・ ゴミストッパーはダストバッグまたは紙パックのどちらを取り付ける場合も使用します。
・ ダストバッグは洗浄して繰り返し使用できます。（22 ページ参照）
・ 紙パックは使い捨てです。ゴミがたまりましたら紙パックごと捨ててください。

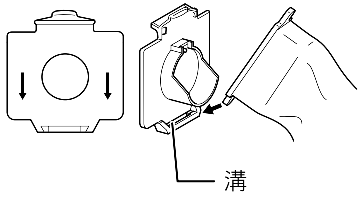
ダストバッグの取り付けかた

・ ダストバッグの取り付けにはゴミストッパーを使用します。上下方向の区別があるのでお気を付けください。

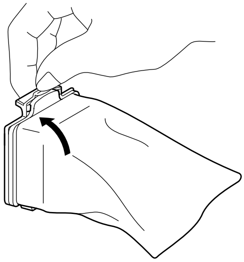


1. 図のようにゴミストッパー下側の溝にダストバッグ凸部を差し込みます。

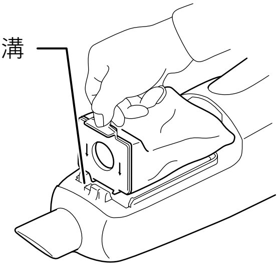
2. ダストバッグには上下方向の区別はありません。どちらか一方の凸部をゴミストッパー下側の溝に差し込んでください。



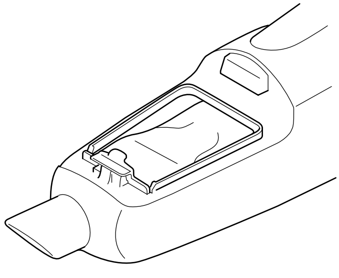
3. ゴミストッパーとダストバッグの枠を重ね合わせます。



4. ゴミストッパーの矢印に合わせてゴミストッパーとダストバッグをいっしょに本機の溝に奥までしっかり差し込みます。



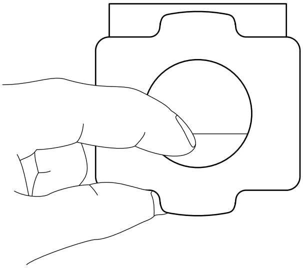
5. ダストバッグの布側を本機ケースに入れます。

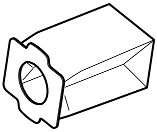


6. フロントカバーを閉めます。
(21 ページ参照)

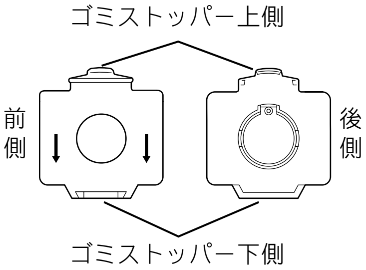
紙パックの取り付けかた

1. 紙パックをご使用の際は、ゴミストッパーにセットする前に紙パックの入り口を広げてください。



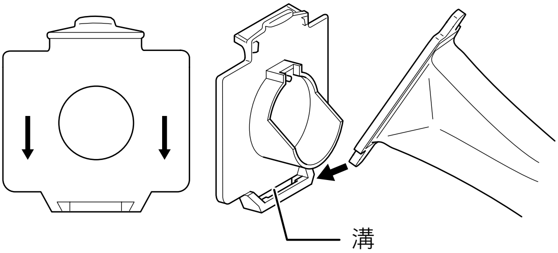


・ 紙パックの取り付けにもゴミストッパーを使用します。上下方向の区別があるのでお気を付けください。

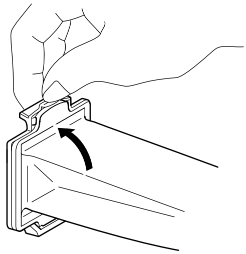


2. 図のようにゴミストッパー下側の溝に紙パック凸部を差し込みます。

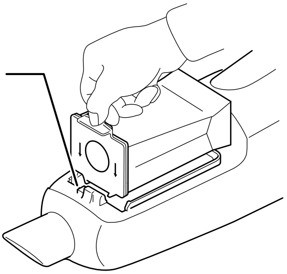
3. 紙パックには上下方向の区別はありません。どちらか一方の凸部をゴミストッパー下側の溝に差し込んでください。



4. ゴミストッパーと紙パックの枠を重ね合わせます。



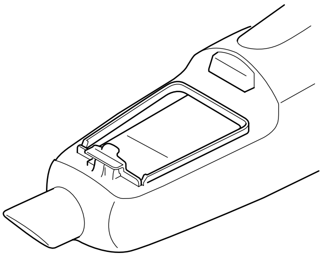
5. ゴミストッパーの矢印に合わせてゴミストッパーと紙パックをいっしょに本機の溝に奥までしっかり差し込みます。



使いかた

6. 紙パックの袋側を本機ケースに入れます。

・ 紙パックは使い捨てです。ゴミがたまりましたら紙パックごと捨ててください。



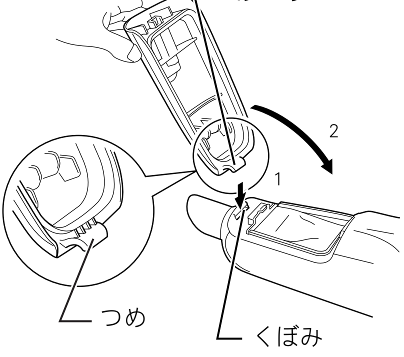
7. フロントカバーを閉めます。
 (21 ページ参照)

注

・ ダストバッグ、紙パックのどちらかを取り付けてご使用ください。
・ ダストバッグや紙パックを入れ忘れたり、奥までしっかり差し込まれていなかったり、破れたダストバッグや紙パックを使いますとモータ故障の原因になります。
・ クリーナの紙パックは、本体性能を維持するための大切な機能部品です。そのため、純正以外の紙パックを使用した場合はモータの発煙、発火する恐れがあります。
・ 紙パック取り付け時は、口元の厚紙を曲げないように取り付けてください。
・ ゴミストッパーは捨てないで繰り返しご使用ください。

フロントカバーの取り付けかた

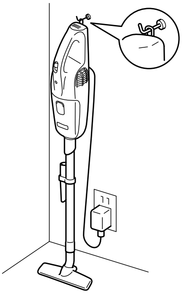
・ フロントカバーのつめを本機のくぼみに差し込んだ後、フロントカバーをカチッと音がするまで閉めます。



保守・点検について

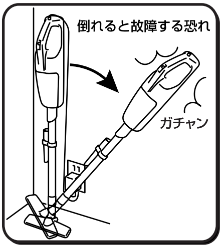
ハンガーについて

・ 充電するときや保管するときは、本機裏側のハンガーをおこし、市販の吊り金具などに引っ掛けておくと便利です。



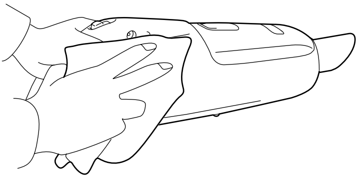
注

・ 何も固定せず立て掛けると転倒して故障する恐れがあります。



お手入れは

・ 本機の汚れは、布に石けん水を少量しみ込ませてふきとってください。
・ 吸い込み口、ダストバッグ収納部、ゴミストッパーに付いたゴミもふきとってください。

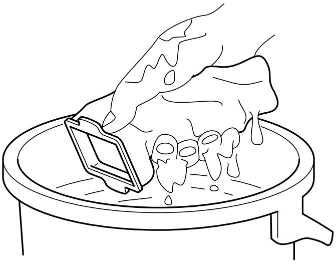


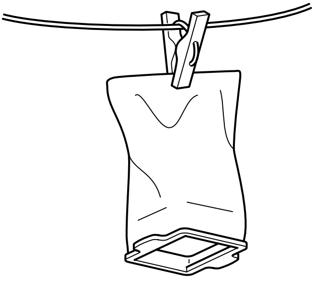
注

・ ガソリン、ベンジン、シンナー等は、変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

・ ダストバッグが汚れて吸込力が低下したときは、ダストバッグを石けん水でもみ洗いし、十分に乾燥させてからご使用ください。

※紙パックは使い捨てです。



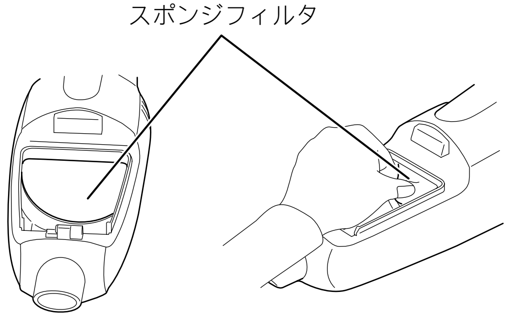


・ スポンジフィルタの汚れは、本機からスポンジフィルタを抜き取り、はたくか水洗いしてください。

保守・点検について

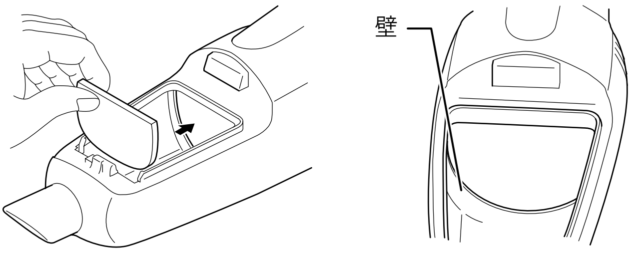
スポンジフィルタの取りはずしかた

・ ダストバッグを取りはずし、ダストバッグ収納部の奥に見えるスポンジフィルタをつまんで抜き出します。



スポンジフィルタの取り付けかた

・ ダストバッグ収納部奥の壁の内側にスポンジフィルタの端を全周押し込みます。



注

・ スポンジフィルタのお手入れをした後は、必ず本機にスポンジフィルタを装着してください。また、水洗いをした場合には、十分に乾燥させてから装着してください。故障の原因になります。

修理について

修理を依頼される前に

症状	調べる所	直しかた
吸込力が弱い	・ダストバッグまたは紙パックのゴミが一杯になっていませんか。 ・ダストバッグが目詰まりしていませんか。 ・紙パックが目詰まりしていませんか。 ・バッテリが消耗していませんか。	・ゴミを捨ててください。 ・ダストバッグをはたくか、水洗いしてください。 ・紙パックを交換してください。 ・充電してください。
動かない	・バッテリが消耗していませんか。	・充電してください。
充電できない	・本機のランプがつかない。 ・スイッチが中間位置になっていませんか。 ・充電器のコードが傷ついていませんか。 ・本機のランプが点滅し続ける。	・充電器のプラグを本機にしっかり差し込んでください。 ・充電器をコンセントにしっかり差し込んでください。 ・スイッチを手前（OFF）の位置にしてください。 ・新しい充電器に取り替えてください。 ・バッテリが熱くないか、バッテリのコネクタがきちんと接続されているか確認してください。 それでも直らない場合は、修理をお申し付けください。

注

・**上表に従ってお調べいただいても直らないときはバッテリが寿命の可能性があります。その場合さらに充電されますと充電器も故障する場合がありますので、修理をお申し付けください。**

・修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げ販売店または当社営業所にお申し付けください。
・修理を依頼される場合は、**クリーナ本機の他に充電器もいっしょに**お持ちください。
・保証期間中は、保証書の規定に従って修理させていただきますので、恐れ入りますが製品に保証書を添えてご持参ください。
・保証期間が過ぎているときは、販売店または当社営業所にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。
・お使いの充電式クリーナは、ニカドバッテリを内蔵しております。充電式クリーナを廃棄処分するときは、必ず内蔵のニカドバッテリを取りはずしてください。

バッテリのリサイクルについて

・ 使用済みのバッテリは、リサイクルのため回収しております。お買い上げ販売店または当社営業所へご持参ください。

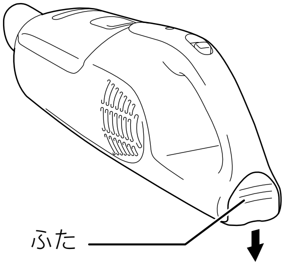
Ni-Cd

**ニカドバッテリは
リサイクルへ**

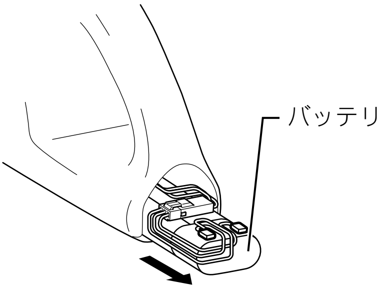
ニカドバッテリの取りはずしかた

⚠警告
バッテリは発煙、発火、破裂の恐れがあります。次のようなことをしない。 ・ 端子に金属類を接触させないでください。 ・ 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れないでください。 ・ 雨や水にぬらさないでください。 ・ 分解・改造はしないでください。 ・ 火中に投入しないでください。

1. 本機後部のふたを、矢印の方向へ押すとふたがはずれます。

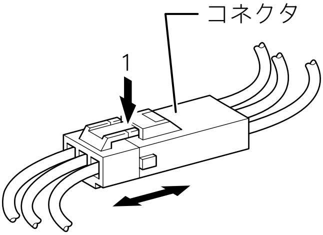


2. 中のバッテリを引き出します。



バッテリのリサイクルについて

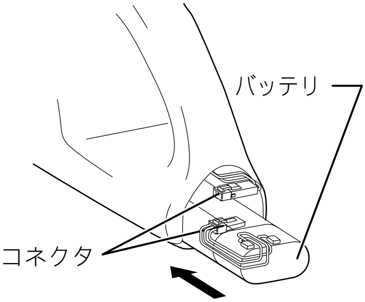
3. コネクタの矢印部分 1 を押しながら、引っ張ります。
4. 取りはずしたバッテリは、端子部にビニールテープを巻くか、ビニール袋に入れてショート（短絡）させないようにしてください。



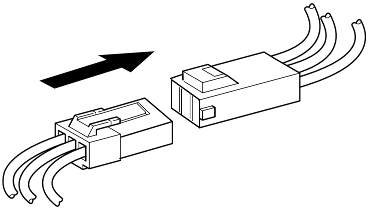
※交換用の充電池のご購入は、お買い上げ販売店までお問い合わせください。

ニカドバッテリの取り付けかた

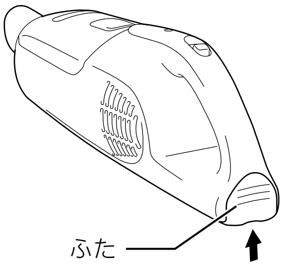
・ 取り付ける際、電源が OFF の状態で作業してください。
・ 図の向きでバッテリを本機に入れてください。



・ コネクタの端子を確実に奥までしっかりはめてください。



・ コネクタを本機後部上側のスペースに収めて本機後部のふたを閉めてください。



株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 （代表）

882372G3
NNP